

■本校と分教室について(参考:伊勢原支援学校の場合)

| 項目 | 本校(高等部) | 分教室 |
|-----------------|---|---|
| 生徒数(クラス数) | 1年 4クラス(33名) 2年 4クラス(38名) 3年 5クラス(37名) | 1年1クラス(12名) 2年1クラス(15名) 3年1クラス(15名) |
| 担任数 | 1クラス2名+学年付教員 | 1学年 3名+分教室付教員 |
| 教育課程 (大きな違い) | <ul style="list-style-type: none"> ・7つの作業種がある作業学習 ・習熟度別の基礎学習 ・個々に応じた学習の設定 ・自立に向けた課題学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ実習(6つの班) ・学年ごと、学部全体、3学年縦割り授業の組み合わせ ・障害者雇用を目指した教育活動 |
| 通学 | <ul style="list-style-type: none"> ・自力通学 ・保護者による送迎 ・自力通学に向けた通学支援(高等部用マイクロバス) | <ul style="list-style-type: none"> ・自力通学(条件) |
| 昼食 | ・給食(1食360円) | ・弁当 |

■本校と分教室について(参考:伊勢原支援学校の場合)

| 項目 | 本校(高等部) | 分教室 |
|-------|---|--|
| 服装 | <ul style="list-style-type: none"> ・私服(希望者は制服) ・体操服は動きやすい服装(例えばジャージなど)であれば良い | <ul style="list-style-type: none"> ・制服 ・指定体操服 ・指定作業着 |
| 学習環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校に教室があり、他学部児童生徒もいる。 ・教室以外に学習室がある。 ・他学部の児童生徒の声などが聞こえることがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高校の中に教室があり、高校生徒と施設を共有している。 ・高校の6つの教室で活動をしている。 ・施設利用において高校との調整が必要であり、制限がある。 |
| 進路先 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業就労、福祉施設(生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援)など | <ul style="list-style-type: none"> ・企業就労が約7~8割。福祉事業所に進む生徒もいる。 ・就労に向けた指導が中心。 |
| その他特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・在籍人数が多いため、学年やクラス、グループでの活動が中心。 ・障害の程度や実態が様々な生徒たちの中で、学ぶ環境である。 ・別室でのクールダウンなどの対応が可能。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業、集団行動が基本(条件)で、個別の対応はしにくい。 ・障害実態の近い生徒の中で学ぶ環境である。 ・生活の流れが速い。 ・ルールに則り、指導をしている。 ・高校の生徒と空間を共にしている。 ・高校との交流行事がある |